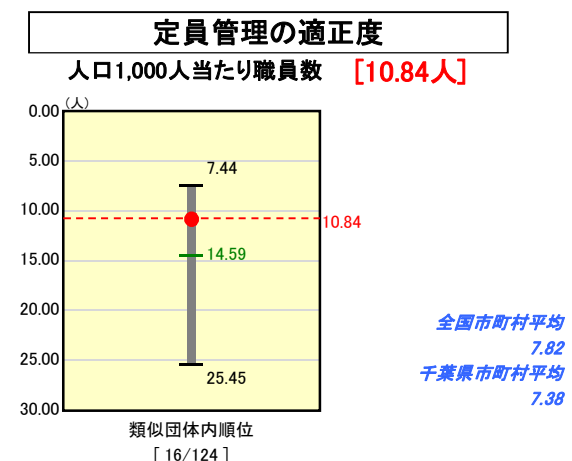
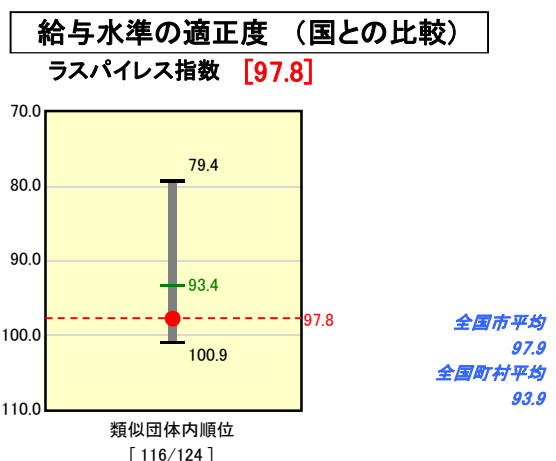
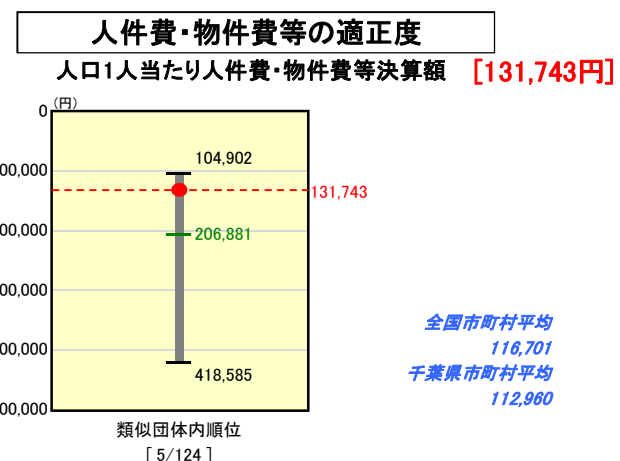
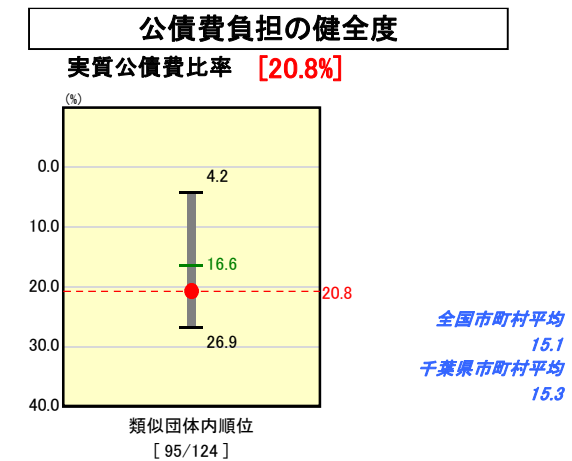
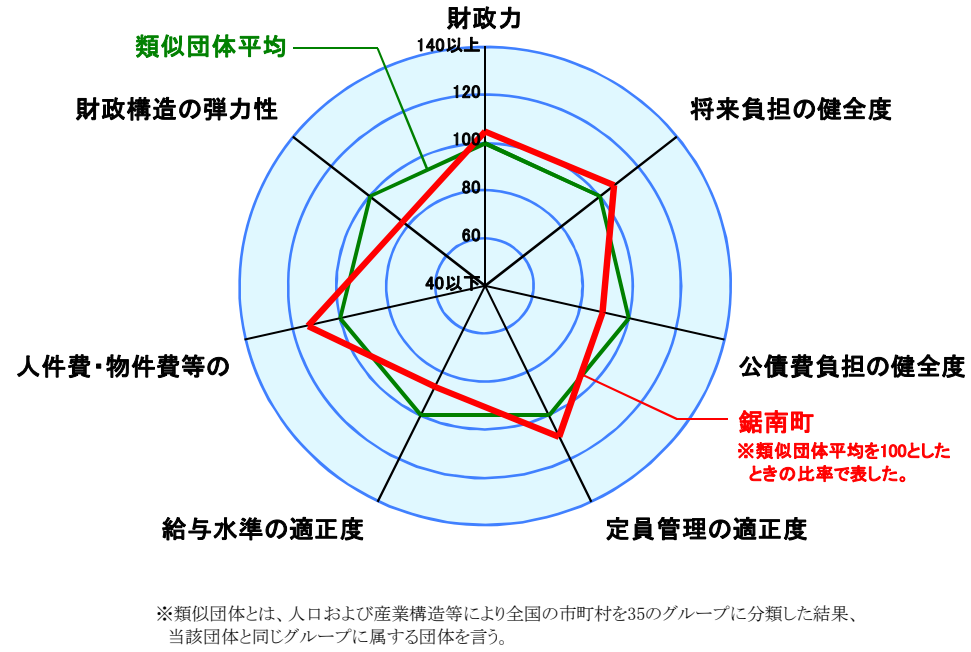
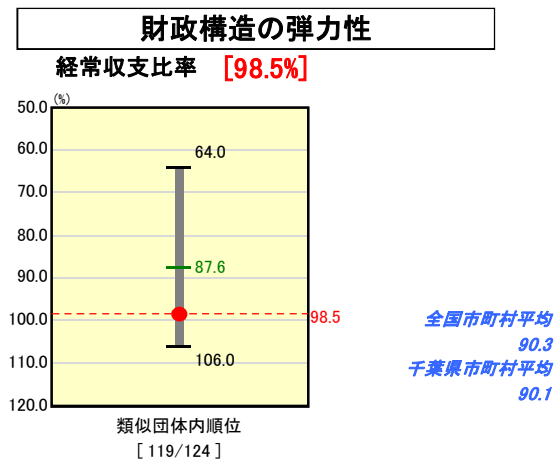
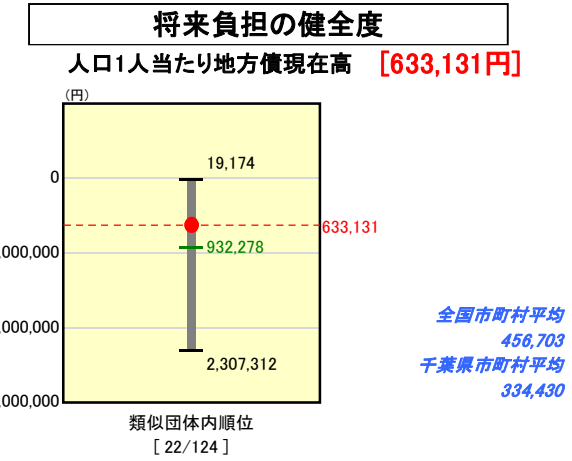
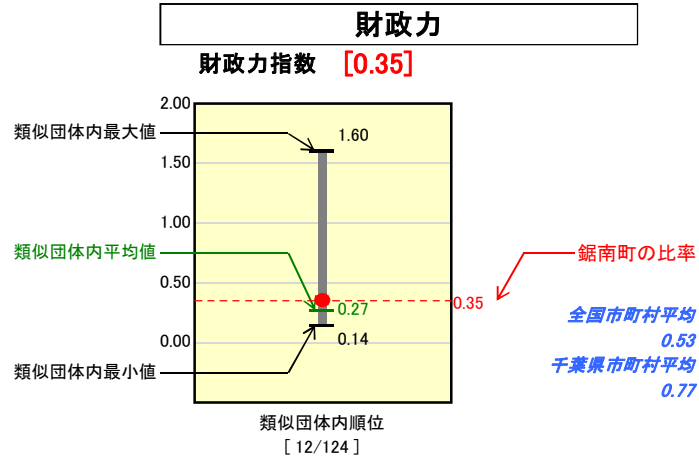


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 鋸南町

人口	9,782 人(H19.3.31現在)
面積	45.16 km ²
歳入総額	3,435,817 千円
歳出総額	3,306,444 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成18年度末34.4%)に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く全国市町村平均を下回っている。施設の統合(保育所2施設から1施設・幼稚園3園から2園・小学校3校を2校へ統合)、給食センター調理・配送業務の民間委託、老人デイサービス事業の指定管理委託等による歳出の徹底的な見直しと鋸南町総合計画に沿った施策の重点化の両立に努め活力ある町づくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより財政の健全化を図る。

経常収支比率
補助費等及び公債費の増加により類似団体平均を上回っている。一部事務組合への負担金の増や公債費の増額が見込まれているが、職員の給与カットや新規採用職員の抑制による人件費の削減を行い、経常収支比率の低減に努める。

ラスパイレス指数
年功的な給料体系となっており類似団体の平均を上回っている。平成18年度から実施している職員給与カット(管理職4%、一般職3%)等により給与の適正化に努めていく。

実質公債費比率
統合中学校の建設や水道事業に係る起債の償還が続いていることにより、類似団体の平均を大きく上回っている。投資的事業に係る新規発行債を抑制してきたが、臨時財政対策債、減税補てん債の発行により公債費が増加傾向にある。今後も新規地方債の発行を元金償還額以下に抑制し、実質公債費比率の低減に努めていく。

人口1人当たり地方債現在高
類似団体の平均を下回っているが、全国市町村平均との比較では1.4倍となっている。主な要因としては、平成5年度から6年度にかけて実施した統合中学校建設事業(総事業費50億円、うち起債34億円)等である。引き続き、新規地方債の発行を元金償還額以下に抑制し、地方債現在高の低減に努める。

人口1,000人当たり職員数
類似団体の平均を下回っているが、全国平均との比較では増となっている。民間委託の推進をするとともに集中改革プランにより退職者4名に対し1名を新規採用することにより、平成17年度から5年間(平成21年度まで)で22名の削減を目標とし適切な定員管理に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体の平均を大幅に下回っているが、全国平均との比較では増となっている。今後、民間でも実施可能な部分については指定管理者制度の導入など